



“一丁啮”が行く！

第102回：鉄道グッズ

皆さん、こんにちは。あっという間に12月になってしまいましたね。今年は11月20日頃まで暑い日が続き、秋という季節感がないまま急に冬が来たような気がします。そんな季節感の無さからか、来年のカレンダーを買うのを忘れていました。私はいわゆる鉄ちゃん、毎年、京阪電車や阪急電車のカレンダーを買って自宅に掛けています。先日、11月20日に出掛けたいで『そうそう、カレンダーを買わなアカン』と阪急河原町駅に行ったらすでに売り切れていました。

え〜〜っ!!(>_<)、しかし、偶然にも改札そばの売店でカレンダーを買っている人を見かけ慌てて飛び込んで何とかゲットすることができました。京阪カレンダーは問題なく祇園四条駅で買うことができたのですが、友人からは『そんなもん、カレンダーなんて9月頃から売ってるんやし、早買わなアカンやん』と言われてしまいました。

ま、しかし、これで来年も我が家では鉄道カレンダーを眺めて過ごすことができるので、良かった良かった(^o^)

さてそんなわけで私は鉄道、しかも電車が好きなテッチャンなんです。今回は私が持っている鉄道グッズをご紹介します。(といっても、興味の無い人にはまったくつまらないコラムになると思いますが、ご勘弁下さいm(__)m)



京阪カレンダーです。横長で毎月京阪の車両が登場します。

阪急カレンダーです。かなり大きなカレンダーで、こちらも阪急の車両が毎月登場します。

これは定番かも知れませんが、鉄道型ホッチキスは、ほとんどの鉄道会社が出しています。写真は左から近鉄観光特急しまかぜ、京都市営地下鉄1000系、新幹線N700系です。これ以外にもまだいくつかあります。

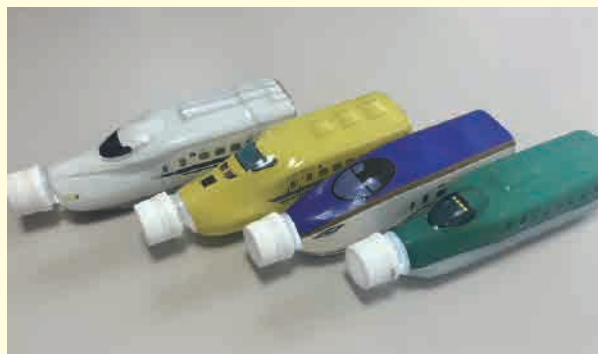


電車型目覚まし時計です。かつて京阪特急として名声を馳せた旧3000系と最新の新3000系の目覚まし時計で、社内放送時のメロディが流れます。

かつて阪急京都線の特急車両として活躍した6300系と神戸線・宝塚線で活躍中の9000系の目覚まし時計です。京都線6300系の目覚ましは梅田駅の発車メロディが流れます。



こんなのご存じですか。新幹線型のペットボトルです。名古屋のリニア鉄道館と新幹線新大阪駅構内で買いました。



新幹線N700系型の体温計です。正確なんやろか？とちょっと疑わしいのですが、発熱時には早く熱が下がる“のぞみ”をかけて測っています。



喜んで持ち歩いているグッズです。スマホ用N700系新幹線型の充電器です。放電時には白いライトが、充電時には赤いライトが点灯します。最近ドクターイエローバージョンも登場しました。

Presented by Sys:port corp.

読者 訪問



第83回

お伺いした会社 井上研磨工業株式会社
お話を伺った方 井上 幸輔 さん
会社の所在地 〒564-0054 大阪府吹田市芳野町 11-7
連絡先など TEL 06-6380-7373 FAX 06-6380-7529
事業内容 金属加工業（金属研磨、加工）



磨く前の材料



磨き上げた材料

今回は大阪吹田の井上研磨さんにお邪魔しました。
かなり古くから弊社の『㊤㊤㊤㊤』をお使いいただいているユーザーさんで、得意先別の専用伝票の印字、商品ラベルシールの印刷、作業指示書の出力などのカスタマイズをしてお使いいただいております。

現社長のご子息、井上幸輔さんにいろいろとお話を伺いました。
同社は昭和36年に創業され、その後法人化されて現在47期目を迎えておられます。現在の社長は4代目だそうで、いずれ井上さんが5代目社長を継がれるとか。

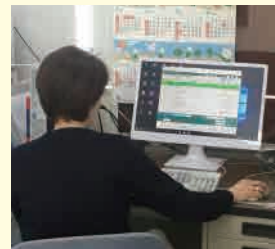
おやりになっておられるのはステンレス部品の研磨とスーパーなどの陳列棚に使われる金属製ネット製作の二つの事業で、売上ベースではほぼ半々だそうです。もともとは研磨専門でおやりになっていたそうですが、熟練工の高齢化や人材不足などもあり、新たな事業の構築をということでネット加工の事業を始められたそうです。

左の上の写真が磨く前の材料で下の写真が磨いたあとのものです。同じものではありませんが、磨く前と後との違いはお判りいただけると思います。磨く材料はいろいろで小さなものからかなり大きなものまであるそうです。船のスクリューは磨く前と磨いた後では燃費が25%も改善するそうです。また、原子力関係では、0.001mmの精度を要求されるなど、高い技術が必要となります。

一人二人でやっている研磨専門工場はたくさんあるそうですが、原子力関係や薬品関係など精密な研磨を要求されるところに、研磨の老舗としての自負を持って高い技術力を背景に他社との差別化を図っていきたいとおっしゃっていました。

一方、金属製ネットの製作事業の方では、スーパーやコンビニなどの陳列棚を手掛けているある会社との連携で業績を伸ばしてきておられます。特にコンビニなどの新装や改装のときには陳列ネットの注文が急に出てきて、しかも短納期対応を迫られます。朝、注文が来てすぐに加工製作して塗装して午後に出荷するなどというようなことも珍しくないとか。コンビニやスーパーでのディスプレイ関係の需要は堅調で、これからも短納期対応を武器に業績を伸ばしていきたいとおっしゃっていました。

「小さな町工場にはなかなかいい人材が来てくれない」と人材不足を嘆いておられましたが、老舗としての研磨の技術、顧客の要求に応える短納期製作など、自社の強みを活かしてますます発展していただけることを期待して帰路につきました。



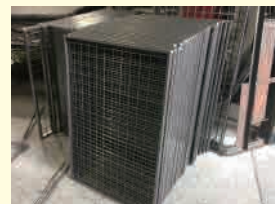
『㊤㊤㊤㊤』使用中の事務所



工場内部



金属の棒を曲げて



溶接加工してネット状に



のほそ道

㊤シリーズをご活用いただいているいろいろなお客様を
尋ねて感じたことや学んだことを徒然なるままに……

こんにちは♪ 今年もあっという間に年末になってしまっていて驚いている『㊤Q』です(^^)
今年もありがとうございました！1年を締めくくるに相応しい、記事は何か良いかなあ～なんて考えていたのですが思いつきません・・・
さてさて・・・と、思っていたら面白いのを見つけました。各都道府県を四文字熟語で3つを挙げて表現するというものです！

<http://sanabo.com/words/archives/category/kenmin>

では、早速♪ 京都は3つほど紹介されていました～

右のようなことだそうです… そやけど、えらい言われようですね(^^;

しかし！！ この中で良い言葉を戴きました！「不易流行」です！

私たちサポートも販売管理の考え方は変わりませんが、新しい機器やインターネットの仕組みを取り入れて変化を続けています♪ それって、もしかして京都の会社やから出来ることかも？なんて思いました。

いよいよ2016年も残すところ一ヶ月、今年もありがとうございました！
どうぞ来年も宜敷く御願ひ申し上げます。良いお年をお迎え下さいね～！

- ① 外巧内嫉（がいこうないしつ）
見た目はわからないようにしているが、心の中ではねたんでいるという意味。本音と建前を使い分ける京都人気質を表しています。
- ② 不易流行（ふえきりゅうこう）
松尾芭蕉一門の俳諧の一つで、絶対に変化しない本質的なものの中にも、新しいものを取り入れていくこと。古いものを大切にしながら、新しいものを貪欲に取り入れる京都人を表しています。
- ③ 冷眼傍観（れいがんぼうかん）
ことの成り行きを、冷然と側でただ眺めていること。自分を出しゃばらず冷静にことの成り行きを見守る気質を表しています。

2016年 12月発行

Presented by Sys:port corp.

第108号



サポート情報提供機関誌

info